

# 衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 27.6.11 第 189 回国会第 23 号

6 月 11 日（木）、第 23 回の委員会が開かれました。

## 1 厚生労働関係の基本施策に関する件（年金情報流出問題）

- ・塩崎厚生労働大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）日本年金機構理事長  
日本年金機構副理事長

水 島 藤一郎君  
薄 井 康 紀君

（質疑者及び主な質疑内容）

### 三ッ林 裕 己君（自民）

- ・二次被害の防止を含めた年金情報の流出への対応の全体像について伺いたい。
- ・年金情報流出による便乗詐欺などの二次被害防止への注意喚起を含め、本事案に関する国民への徹底した周知が必要と考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

### 中 野 洋 昌君（公明）

- ・今回の年金情報の流出は 5 年連続で日本年金機構の個人情報保護に関する評価が低いという状況にも要因があると考えられるため、抜本的な意識改革や業務改善が必要なのではないか。
- ・今回の年金情報流出事案を踏まえた日本年金機構への監督強化に対する厚生労働大臣の考えを伺いたい。

### 足 立 康 史君（維新）

- ・年金情報が流出したのは、基幹システムが古いために業

務上必要な機能を追加できず、インターネットに接続された別端末に情報を移さざるを得ない仕組みに問題があったためではないか。

- ・マイナンバー制度の導入については、今回の年金情報流出事案の発生と切り離して進めていくべきではないか。
- ・年金だけではなく医療保険分野においても、インターネット等外部に接続できる端末に、個人情報ファイルをダウンロードして業務を行うことのないよう、厚生労働大臣は指示すべきではないか。

### 井 坂 信 彦君（維新）

- ・日本年金機構のインターネットメールの遮断について、地域や部署を限定して実施することは可能か伺いたい。
- ・6 月 4 日まで遮断されていなかったメール専用のインターネット回線から、個人情報が出た可能性はなかったのか伺いたい。
- ・年金情報の流出件数が、現在確認されている約 125 万件にとどまらない可能性があることを踏まえた、相談者からの問い合わせ等の対応をすべきではないか。